

講演会講師論稿

講演会報告

研修部

平成二十四年の春季講演会は昨年よりの新企画の会員の方々の研究発表の場として、三月四日（日）に別府市野口ふれあいセンターにて会員三名の方による講演を行いました。まず、吉良直子氏による「速見郡南石垣村庄屋の覚書」を読む」の講演があり、全六十三枚の内、五種類の覚え書きを解説し江戸時代末期の時代の別府の様子を知ることができました。本号に概要を掲載します。次いで、大野雅章氏の「豊後豊岡「小浦・頭成」の風物」の講演が行われました。パソコンを利用しての写真で頭成から里屋への風物の解説が行われ、時間の経つのも忘れて見入りました。小浦く影平く小坂への道の写真や解説も興味を引きました。その要点をまとめて貰いましたので掲載します。最後は松岡謙一郎氏による「かなわ」湯けむりの里」の講演が行われました。「かなわ」についての先人の研究成果をまとめるかたちで、鉄輪の紹介が行われました。内容についてはレジユメを掲載します。

総会時の記念講演会は、五月十三日（日）に別府中央公民

館にて、大分県立先哲資料館館長の平井義人氏により「史料で見る豊後における地震災害」の講演が行われました。まさに喫緊の課題である防災に対する心構えを喚起する時宜を得た内容でした。その時のレジユメと資料を掲載します。

秋季講演会は、十月二十七日（土）に別府中央公民館にて、八幡朝見神社第三十八代宮司神日出男氏により「八幡朝見神社の歴史」の演題でご講演いただきました。八幡朝見神社の歴史とともに、神職段位や神職身分・職称、神社の社格や呼び名の解説などをされました。神宮・大社・宮・神社の呼び名の根拠や拍手の数の決まり、礼拝の仕方が解説されました。また、供え物の記載方法なども知らせてもらい、最後は宇佐神宮の宮司任命問題でまとめられました。資料を掲載します。本年も春季、総会記念、秋季と三度の講演会を行うことができました。

ことにお礼
申し上げます。



平井 義人氏



神 日出男氏